

関西大会決勝(最終日)

◇23日◇滋賀・琵琶湖CC(6940ヤ、パー72)◇出場
90人乗機2人◇雨、22℃度、西南西の風2.0kt

首位に2打差2位スタートの徳永
圭太(20)大院大3年)が6パーデ
ィー、1ホギーの5アンダー67で回
り、通算7アンダー37で逆転の
初優勝を飾った。唯一のアンダーパ
ーをマークした徳永は300ヤシ
ョットを放つ大器。2位には空崎直樹
(43)と左近哲也(50)が入った。
上位40人が全日本大会(11月5、6
日・石川・片山津GCC白山CC)の出
場権を得た。

有言実行

徳永はこの日4
アンダーで18番4
08ヤパー4にやってきた。優勝は
もはや確実だったが、このままでは
「5アンダー出して優勝する」と宣
言した前日の言葉が守れない。「絶

優勝した徳永圭太
期待の大器の出現だ

徳永 逆転初V



2打差2位から独走、唯一アンダーパー

◆徳永圭太(20)ながけいた)1994年
(平9)9月16日、神戸市生まれ。父に連れられ
3歳からゴルフを始め、小1の頃から競技ゴ
ルフに出場。得意クラブはサンドウエッジ。ペ
ストスコア61(パー70)のくずはパブリック
C)JGAハンディ13.175、82ヤ。

【主催】日刊スポーツ新聞社(後援)
日本ゴルフ協会、関西ゴルフ連盟、朝
日新聞社、朝日放送(協賛)ダンロップ
プロスポーツ(協力)琵琶湖カントリー
倶楽部

対、最後にパーディーを取ろうと思
いました」。ややハンドダウン風味
で構えるドライパーをこん身の力を
込めて振った。グリーンエッジまで
100ヤのフェアウエイ中央へ、単
純計算300ヤ超えのビッグドライ
ブだ。
カップが30ヤ奥に切っていたの
で、ピンまで130ヤをビッグチンク
ウエッジでピン右横4センチを、
この日好調だったバターでねじ込
み、有言実行の5アンダー67だ。第
1日が2アンダー70で、終わってみ
れば通算7アンダー37は、唯一
のアンダーパーで2位に9打もつけ
る庄勝の初優勝だった。

こんな徳永のぶっちぎりも力から
すれば、当然と言えば当然だった。
今月上旬の兵庫・広野GCで行われ
た最高峰の戦い、日本アマでベスト
8に入る実力者から来た。「優勝で
きなかったのは悔しいです。来年に
取っておきますが、これから出る試
合はすべて勝つつもりです。もちろ
んこの日刊アマもでした」。狙って
勝った試合だった。

最終18番のように、掛け値なしに
300ヤの飛距離を誇る。それでも
も、少なめに言う人がいるでしょう。
ぼくは堂々と300ヤ飛ばすと公言し
て、飛ばします」と言う。こうして、自
分に重任をかけて思い切り振る。ピ
ックマウスにビッグドライブは、風
貌が昨季の黄金王の小田孔明に似て
いるだけではなく、もはや、プロふた

松山目線

来年、大院大4
年になり夏にはツ
アー予選会に挑戦してプロゴルフア
ーへ突き進む。「世界で活躍する松
山さんみたいになりたい」。大器の
においを譲わず徳永にその可能性は
大いにある。

【町野直人】